

全国大会報告

第91回 全国高等学校ラグビーフットボール大会

お礼のご挨拶

この度は札幌山の手高校ラグビー部の花園出場に際しまして、多数の同窓生、学校関係者、ラグビー関係者、並びに地域の皆様から暖かい励ましと多大なるご芳志を頂きました。ここに心よりお礼を申し上げます。本校ラグビー部が12年連続で花園に出場することが出来たのも、皆様からご支援を頂いた賜と感謝いたします。

1回戦は和歌山県代表・和歌山工業高校と対戦、29対0で勝利し5年連続の初戦突破を果たしました。2回戦は岩手県代表・黒沢尻工業高校との対戦となりました。東北大会のチャンピオンであるシード校を相手に、取られたら取り返す展開で食らい付いて行きました。後半は5点を追い何度も相手ゴール直前に迫りましたが、ついに逆転のトライを奪うことが出来ませんでした。今年もシード校の壁を破ることは出来ませんでした。その壁を破る日は近いことを感じさせる試合でした。

現在新チームは先輩達が残した足跡を胸に刻み、一致団結して練習に取り組んでいます。

最後に、ご支援を賜りました全ての方々に深く感謝を申し上げます。そして今後更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お礼のご挨拶といたします。

札幌山の手高等学校 校長 西岡 憲廣
札幌山の手高校ラグビー部後援協賛会 会長 丹野 政則

試合結果

▽1回戦 12月27日 花園第Ⅱグラウンド

札幌山の手(南北海道) 29 - 0 和歌山工業

2	トライ	0
2	ゴール	0
1	PG	0
17	前半	0
2	トライ	0
1	ゴール	0
0	PG	0
12	後半	0
29	合計	0

前半札幌山の手は反則を重ね、受けに回ってしまった。何度もゴール前で釘付けとなったが、激しいタックルでゴールを割らせなかった。逆に少ないチャンスを確実にものにし、得点を重ねた。

▽2回戦 12月30日 花園第Ⅲグラウンド

札幌山の手 15 - 27 黒沢尻工業(岩手)

2	トライ	2
1	ゴール	1
0	PG	1
12	前半	15
0	トライ	2
0	ゴール	1
1	PG	0
3	後半	12
15	合計	27

緊迫した接戦となった。しかしスピードと強さを兼ね備えた黒沢尻工のBKが、抜群の決定力で得点を重ねた。札幌山の手もFWが再三にわたりゴール直前まで迫るも、ミスや反則が重なり、ついにゴールを割れなかった。



前半19分、ハーフウェイ中央のスクラムからボールを持ち出し、トライを決めたNo.8 初山(3年)

平成23年12月28日 北海道新聞



前半終了間際、右タッチライン際を約50m走り、トライを決めたWTB先谷(2年)

平成23年12月31日 北海道新聞

平成23年度 全国大会出場協賛金決算

収入の部

1. 寄付金	1,475,990
2. 父母会負担	5,030,000
3. 生徒会	3,915,750
合計	10,421,740

支出の部

1. 1次合宿	1,576,191
2. 2次合宿	3,484,096
4. 本大会	4,054,857
5. 装具費	1,142,504
6. 事務費	109,955
7. その他	47,460
合計	10,415,063

収支差引額 6,677 円

この度はラグビー部の全国大会出場にあたり、数百名の方々から心温まるご支援をたまわり、有り難うございました。今後とも、本校ラグビー部へのご支援とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。残金につきましては、次年度の強化費として使わせて頂きます。

事務局長 藤井 栄人

花園観戦記

札幌山の手高校ラグビー部父母会会長 伊藤 裕之

2011.12.27 午後1時15分「第91回全国高等学校ラグビーフットボール大会」1回戦花園第2グラウンドで、和歌山工業高等学校との試合が始まった。

前半は、山の手自陣での時間帯が多く和歌山工に攻められたものの、17分、19分には敵陣に入ってから少ないチャンスを、軽快なステップと走力で相手ディフェンスをかわしトライ！！2トライをあげ14対0。前半終了間際には、ペナルティゴール成功で、17対0で前半を折り返した。

後半に入ってから和歌山工の攻めが続き、厳しい時間帯が続く。しかし、15分には相手のノックオンを誘い、19分には相手からボールを奪い、ターンオーバーをするなど、この試合山の手はゴールラインを背に素晴らしいディフェンスを魅せてくれました。その後は、24分と28分にトライをかさね、終わってみれば29対0。反則15をとられ、60分のほとんどが自陣でのプレーが続いたにも関わらず相手に点を奪われなかった事が、今後につながる試合だったのではないのでしょうか。

2011.12.30、この日は2回戦でシード校も出場することもある為かグラウンド周りには人であふれかえり各グラウンドの観戦者も1回戦よりも増えている感じがします。又、ラグビー界でよくテレビや雑誌等で見る顔も沢山いらっしゃいました。

12時45分2回戦花園第3グラウンド、黒沢尻工業高等学校との試合が開始。今年で5年連続1回戦を突破した山の手高校ラグビー部関係者、そして応援してくれている全ての人達の願いはただ1つ。『2回戦突破！！』。緊張と期待を胸に、私達に出来る事は応援することのみ。

前半18分に山の手はトライをあげ、ゴール成功で、7対8にするも、20分には相手にトライを許したが、終了間際に自陣30メートル付近から展開し60メートル独走の攻撃で「トライ！」12対15の3点差に詰寄り前半終了。後半に入り4分中央右15メートル付近からペナルティゴールを成功させ「15対15」ついに同点に追いつき、応援席の盛り上がりは最高潮。1カ月前に0対19で負けたあの、黒沢尻工にこの花園で同点に！誰もが『いける』と思ったと同時に、緊張感もさらに高まったのではないのでしょうか。しかし、相手も9分にモールで押し込みトライ。まさに一進一退の試合になってきました。15対20と逆転されたものの今日の山の手は違う。1トライ1ゴールでの再逆転を信じた。

試合中盤の、12分相手フルバックにタックルが決まりペナルティ。ここで相手陣内12メートルまで攻め込むタッチキックは「ナイス！キック！」この2つのプレーで流れは山の手へ。さらに攻撃は続きモールで攻め込むもゴールラインまで1メートル、いや50センチまでいったがトライならず。その後何度も相手に押し戻されながらもチャンスを作り攻め込むも、相手はシード校、我慢のプレーが続き、山の手はトライする事は出来なかった。そして、27分相手バックに展開されトライを奪われ、15対27そして「ノーサイド」。「あと一歩」「あと半歩」「同点になった時に勝利が頭によぎったのは夢？」「終わったな」そんな想いをもちながらただ拍手をおくるだけでした。

試合終了後の選手の『涙』、この日の思いが、きっと1年後の花園で.....

2011 TEAM RYOTAの『Story』は終わり、新しい『Story』へ.....

お疲れ様でした『3年生』 来年こそ3回戦へ『2年生・1年生』

＜追記＞

今回の花園では、中学生の全国大会も行われていました。30日の山の手2回戦には、北海道選抜の選手、同行された関係者の皆様に観戦、応援して頂きました。そして翌日31日には、山の手選手たちが、中学生の試合にかけつけ、応援する事が出来ました。北海道選抜の中学生たちが、山の手試合を観戦して何か一つでも感じるものがあったらいいなと思っています。そして、全国レベルを知った中学生たちが高校生になって、この花園のグラウンドに立つ事があればいいなと思っていました。『花園』いつか又、きたい場所になりました。

遠征メンバー

学年	氏名	ポジション	身長	体重	学年	氏名	ポジション	身長	体重	学年	氏名	ポジション	身長	体重
③	佐藤 諒太	HO	175	87	2	箕田 迅一郎	PR	183	105	1	井上 泰佑	HO	167	73
3	間ヶ敷 拓磨	PR	168	91	2	白方 諒	PR	179	92	1	山崎 年央	LO	180	95
3	長井 洸太	LO	182	82	2	山崎 貫志	LO	183	97	1	亀井 智輝	LO	183	98
3	初山 拓己	No.8	175	76	2	古川 龍雅	LO	180	80	1	牧尾 翔馬	FL	168	73
3	寺下 将史	SH	167	59	2	相馬 健祐	FL	174	81	1	松本 巧也	SH	162	56
3	藤野 秀平	CTB	172	65	2	眞光 雄哉	FL	175	83	1	鈴木 陸	SO	180	70
3	伊藤 優駿	CTB	167	83	2	ジョージン・バードン	FL	181	87	1	トビ・ロバート	LO	192	88
3	久保 匠	WTB	174	72	2	浅野 祥平	SH	165	65	1	小林 駿介	CTB	172	69
3	糺田 健斗	WTB	166	55	2	加藤 竜也	CTB	174	84	1	江頭将太郎	CTB	174	65
3	芝木 天馬	FB	176	79	2	先谷 慎尚人	WTB	175	68	1	秋本 庸介	WTB	177	64
2	渡邊 隆之	PR	182	114	2	西本 峻真	WTB	172	67	3	田中 千賀	マネージャー		